清川村は、都心から50km圏にある大自然に囲まれた"神奈川県で唯一の村"ま村の総面積の約90%を占める森林が育む清い空気と清い水、森林から湧き出る清流を貯めた宮ケ瀬湖は神奈川県民の水がめであり、美しい景観と広大な湖畔園地を有し、四季を通じてイベントも開催され、観光客・地元住民の憩いの場となっている。国定公園である丹沢山系は登山・ハイキングの近場の人気スポットである。





清川村が抱える課題

- *人口減少:少子高齢化の進展と人口流出、若者が希望を持って活躍できる環境整備、居住し続ける魅力作りが必要
- *森林の高齢化: 樹齢50年以上→CO2吸収量の低下&水源涵養機能低下→保育間伐の維持が急務
- *宮ケ瀬湖畔園地の再生:行ってみたい、リピートしてみたいと思える"魅力"の創出が必要
- *低い知名度:清川村に対する首都圏人口の認知度が約30%と低い、残り70%ポテンシャルに対する魅力発信が必要

課題に対する解決策①

煤ヶ谷地区:道の駅周辺地域資源を活用した地域経済の活性化

- ① 既存針葉樹林の広葉樹への植替えと森林内遊歩道の新設
 - *道の駅・村役場周辺の景観林の整備 (吉野桜・もみじ・等への植替え) をすることにより道の駅来訪者に四季を感じてもらえるように整備する。
 - * 間伐材ウッドチップの活用等により森林遊歩道を新設し、ハイキングができるよう整備することにより、来訪者の滞在時間を増やしてもらう。
- ② 道の駅と駐車場の整備・拡充
- ③ 新たな産業の誘致・連携

オートキャンプ場 (既設)、醸造事業 (新規:クラフトビール・ワイン)、六次農業 (既設:シャインマスカット・ワインブドウ)



課題に対する解決策 ②

宮ケ瀬地区:森林涵養の為に伐採した間伐材の有効活用及び行ってみたい"魅力"を作る事業

森林保護の大切さを感じてもらえるように、観光客に森に入ってもらうための森林遊歩道の整備(村主導)、及び湖畔園地内にアクティビティー施設を新設し(民間主導)、宮ケ瀬湖畔園地の魅力を高め、観光客及び交流人口の増加を図る。

1) 間伐材を活用した森林遊歩道の整備

- *水源環境を学習してもらうために、老朽化した既存遊歩道を整備し、 森林ワークショップの開催等の企画を実施する。
- 2) 間伐材を使用した案内看板に企業名を冠することにより、 企業ブランディングに活かしていただく。
- 3) その他多目的活用案

ツリークライミング、トレッキングツアー**、**トレイルアドベンチャー施設、 ジップラインコース等の設置



企業版ふるさと納税を通じたカーボンニュートラルへの貢献と企業ブランブランディング

企業版ふるさと納税を通じて当村へご寄付をいただくことにより、<u>村が抱えている森林資源の保全・維持活動に関する課題解決</u>の一助となり、貴社のカーボンニュートラルに対する活動が認知され、延いては、**企業イメージの向上** = **ブランディング**に繋がることが期待されます。

清川村とのパートナーシップと企業様PR

- * 貴社と本村とのパートナーシップ構築に関し、本村及び貴社ホームページへの掲載、新聞・地元広報誌への掲載等による拡宣
- * 寄附活用事業で整備された事業・施設に設置する銘板等への貴社名の掲載。



ご連絡先:清川村 村づくり観光課

- 〒 243-0195 神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2216番地
- ☎ 046-288-3864 (直通)
- ⋈ kankou@town.kiyokawa.kanagawa.jp

担当者:地域活性化起業人外岡紀彦 090-6174-1431





